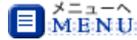




長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1794秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-7. 情報社会とコンピューティング**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586013301	科目番号	05860133
授業科目名	●情報社会とコンピューティング I (計算機の科学)		
編集担当教員	野崎 剛一		
授業担当教員名(科目責任者)	野崎 剛一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	野崎 剛一		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	nozaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター2階		
担当教員TEL	095-819-2217		
担当教員オフィスパワー			
授業のねらい	コンピュータは万能ではない。その特性を知って、うまく使いこなすことが大切である。情報社会を支えるコンピュータは多様な目的に使われているが、そこには共通な情報処理の原理があり、それに基づいて色々な応用目的に利用されている。 本講義では、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや動作原理、デジタルデータ処理の基本手法について理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	コンピュータの基本的な原理や特性を正しく理解することにより、コンピュータはどのような時に役立ち、どのようなことが苦手かという見当がつくようになる。今後の専門科目の学習、専門課程の研究にも役立ち、応用できる基礎概念を身につけるよう講義する。理解を深めるためにインターネット接続されたWindowsパソコンを一人1台ずつ利用できる教室も活用して適宜、演習を行う。		
授業到達目標	情報社会を積極的に生きるために必要なコンピュータ技術の基礎的な動作原理を理解することを目標とする。		
授業内容	原則として下表に沿って進めるが、授業の進捗や理解度の状況によって、若干の変更があり得る。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、コンピュータの基本構成と動作原理	
	2	情報のデジタル化、情報の数値表現、コンピュータ内での情報の表現、情報の量	
	3	デジタル情報処理、情報機器の種類と特性、計算誤差の話など	
	4	オペレーティングシステム(OS)、役割、機能、ファイル管理	
	5	プログラミング入門(1): 入力、出力、演算	
	6	プログラミング入門(2): 繰り返し、条件判断	
	7	プログラミング入門(3): アルゴリズム	
	8	プログラミング演習、デバッグ	
	9	様々なアプリケーションソフト、オープンソースソフトウェア、フリーソフトの活用、著作権	
	10	様々なデータ処理、デジタル信号処理、デジタル画像処理	
	11	コンピュータはデータをどのように記憶しているのか、基本論理回路	
	12	コンピュータの構成部品、パソコンの内部を見てみよう コンピュータの解体と組み立て	
13	情報セキュリティ、暗号について、情報システムの管理と保守		

	14	コンピュータネットワークの仕組みとその利用, WWW, 電子メール, ファイル転送など
	15	コンピュータの歴史, 総まとめ
	16	定期試験
キーワード	コンピュータ, 電子計算機, ネットワーク, ハードウェア, ソフトウェア	
教科書・教材・参考書	e-ラーニングシステム(WebClass)上に電子ファイルで示す。	
成績評価の方法・基準等	課題70%, 小テスト・試験30%として総合評価を行う予定	
受講要件(履修条件)	学習意欲	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1793秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-7. 情報社会とコンピューティング**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586012501	科目番号	05860125
授業科目名	●情報社会とコンピューティング I (情報の活用)		
編集担当教員	藤井 美知子		
授業担当教員名(科目責任者)	藤井 美知子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤井 美知子,丹羽 量久		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[情]第2端末室		
対象学生(クラス等)	教育学部,経済学部,薬学部,水産学部		
担当教員Eメールアドレス	fujiiim@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター 2階		
担当教員TEL	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー	火曜日 13:00~14:30		
授業のねらい	報告書の作成にあたって、文書構造を意識した文章の組み立て方法を理解し、推敲結果の反映、その体裁を整えるといった一連の文書作成作業を容易にかつ効率的に行うために必要な文書作成ソフトの活用方法を習得させる。また、数値データを目的に応じて適切な方法で分析し、その結果をわかりやすく表現できるように、表計算ソフトに備わっている種々の関数機能、グラフ作成機能を習得させる。		
授業方法(学習指導法)	文書作成技法および表計算技法についての講義に加え、複数のアプリケーションソフトウェアを使った演習を随時行う。		
授業到達目標	デジタル文書作成技法を理解し、整った報告書(レポート)を効率的に作成できる。 表計算技法を理解し、数値データのデータ分析に応用し、その結果をグラフ等で表現できる。		
授業内容	授業内容は以下のことを予定しているが、理解状況等に合わせて回数・順序・方法等を調整しながら進める。		
	回	内容	
	1	【ガイダンス】 この授業の概要、目的、目標、内容、進め方、評価方法について説明を行う。	
	2	【文書作成技法(1/3)】以下の内容を3回に分けて行う。 論理的な表現、文書の構造化、Microsoft Wordの機能(アウトライン、スタイル、複数セクション、目次の作成、数式ツール等)	
	3	【文書作成技法(2/3)】	
	4	【文書作成技法(3/3)】	
	5	【表計算技法(1/4)】以下の内容を4回に分けて行う。 Microsoft Excelに備わっている関数(統計、財務、データベース等)、クロス集計	
	6	【表計算技法(2/4)】	
	7	【表計算技法(3/4)】	
	8	【表計算技法(4/4)】	
	9	【分析のための可視化(1/3)】以下の内容を3回に分けて行う。 情報の変換、グラフを用いた分析、グラフ作成の原則、Microsoft Excelグラフの描画(円グラフ、組み合わせグラフ、散布図、レーダーチャート、グラフテンプレートの利用等)	
	10	【分析のための可視化(2/3)】	
	11	【分析のための可視化(3/3)】	

	12	【文書の改変(1/2)】以下の内容を2回に分けて行う。 変更履歴, Microsoft Wordの機能(校閲等)
	13	【文書の改変(2/2)】
	14	【総合演習】
	15	まとめ
	16	
キーワード	デジタル文書作成技法, 表計算技法	
教科書・教材・参考書	eラーニングシステムWebClass上で教材を提供する他, 必要に応じて別途指示する。	
成績評価の方法・基準等	授業中演習課題および授業時間外に課すレポートの提出状況とその内容で評価する。	
受講要件(履修条件)	全回出席を原則とする。	
本科目の位置づけ	前期開講の情報科学科目「情報基礎」の関連科目	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	学習内容を確実に習得するため, 必ず予習と復習に取り組むこと	





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-7. 情報社会とコンピューティング**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586012901	科目番号	05860129
授業科目名	●情報社会とコンピューティング I (情報社会の安全と安心)		
編集担当教員	上繁 義史		
授業担当教員名(科目責任者)	上繁 義史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上繁 義史		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	yueshige@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	情報メディア基盤センター2階		
担当教員TEL	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー	火5, 木5		
授業のねらい	情報社会において、安全性を確保していくためには、情報セキュリティを維持していくことが欠かせない。本授業では、情報セキュリティについて、基本的な考え方や社会問題について取り上げ、総合的に理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	10回分を講義、5回分を総合演習とする。資料を毎回配布する。各回の授業内容を確実に理解していくために、適宜グループ単位での学習を取り入れる予定である。 eラーニングシステムWebClassを、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。		
授業到達目標	情報セキュリティの取り組み方について概要を説明できることを到達目標とする。この目標に到達するために、以下のサブ目標を挙げる。 ・情報セキュリティやセキュリティリスクなどの基本的な考え方を説明できる。 ・個人情報やプライバシーなどの基本的な考え方を説明できる。 ・セキュリティリスクを組織的に管理するための方法について概説できる。		
授業内容	原則として下表に沿って進めるが、授業の進度や理解度の状況によって、若干の変更があり得る。		
	回	内容	
	1	第一部:知識編(第1回～第10回) ガイダンス～安全を確保していくための終わりなき取り組み、それが情報セキュリティだ!	
	2	情報社会の安全を脅かす脅威の数々～様々な情報システムの弱点を突いた巧妙なトリックを紹介する	
	3	個人情報保護法とプライバシー～「個人情報」の真意と「自己情報コントロール権」の内容を俯瞰する	
	4	情報を守る技術～技術者が考える「情報を守る」の意味を代表的な技術から読んでいく	
	5	スマートフォンの便利さの裏に潜むモノ～「個人情報」の送信やウイルスなどの脅威を紹介する	
	6	ウイルスは死なず～ウイルスなどのマルウェアの事例やワクチン作成件数などを紹介する	
	7	ソーシャルエンジニアリング～様々な情報を盗むのに、ICTを使わずに最近の脅威を紹介する	
	8	クラウドの便利さの裏に潜むモノ～クラウドコンピューティングが様々な脅威を生むことを紹介する	
	9	情報セキュリティのリスクマネジメント～組織的のもつ情報資産のセキュリティを維持するために、組織の弱みを正しく知ることが第一歩であることを学ぶ	
	10	情報セキュリティのマネジメントサイクル～PDCAサイクルの構築・運用による組織の取り組みについて学ぶ	
	11	第二部:活用編(第11回～第15回) ISMSのグループ学習1:リスクアセスメント1～とあるオフィス为例に、どのようなリスクがあるかを検討する	

	12	ISMSのグループ学習2:リスクアセスメント2～リスクを数値化することで、対策の優先順位を検討する
	13	ISMSのグループ学習3:管理策の検討1～リスクアセスメントに基づいて、管理策を具体的に検討する
	14	ISMSのグループ学習4:管理策の検討2, プレゼン内容の検討～具体的な管理策のプランニングと学習成果プレゼンの準備を行う
	15	ISMSのグループ学習5:グループ学習の成果発表とディスカッションを行う
	16	定期試験
キーワード	情報セキュリティ, 情報セキュリティリスク, リスク管理, 個人情報保護	
教科書・教材・参考書	<p>教科書は指定しない。教材として、毎回テキスト(プリント)を配布する。 なお、テキスト及び講義スライドはWebClassでも入手できるようにする。</p> <p>参考書: ・(独)情報処理推進機構, 「情報セキュリティ読本 三訂版 IT時代の危機管理入門」, 実教出版社, 2009年8月 ・島田裕次, 榎木千昭, 澤田智輝, 内山公雄, 五井孝, 「ISO27001規格要求事項の解説とその実務」, 日科技連, 2006年7月 ・瀬戸洋一, 高取敏夫, 織茂昌之, 廣田倫子, 「情報セキュリティの実装保証とマネジメント」, 日本工業出版, 2009年3月 ・羽室英太郎, 「情報セキュリティ入門」, 慶應義塾大学出版会, 2011年2月 ・青柳武彦, 「情報化時代のプライバシー研究」, NTT出版, 2008年5月</p>	
成績評価の方法・基準等	レポート課題(20%), 授業の取り組み状況(20%), ISMSのグループ学習成果物(25%), 定期試験(35%)をもとに、総合的に評価を行う。	
受講要件(履修条件)	原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。	
本科目の位置づけ	前期開講の情報科学科目「情報基礎」の関連科目	
学習・教育目標		
備考(URL)	https://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp	
備考(準備学習等)	授業時間の前後に必ずWebClassにアクセスして予習・復習を行うこと。	

